

令和5年度以降の協議テーマの検討について



墨田区は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

墨田区産業観光部

令和5年度以降の協議テーマの検討について

目的

令和5年度以降の協議テーマについて意見交換を行い、協議すべきテーマを見出す。

議論の視点

ものづくりだけでなく、商業・観光の視点も意識してご議論をいただきたい。

「産業と観光の将来構想～あえる！～」の4つの戦略を念頭にご議論をいただきたい。

本資料はあくまで意見交換のための参考情報であり、忌憚のないご意見をいただきたい。

スケジュール(例)

	令和5年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テーマ	今回の検討結果により決定											
会議開催時期 (予定)		★ 第1回		★ 第2回		★ 第3回		★ 第4回				★ 第5回

区の産業を取り巻く環境変化

➤ ウィズコロナにおける経済活動

- ✓ コロナ禍を契機とした社会変化の加速
- ✓ 感染症予防との両立
- ✓ サステナビリティへの対応
- ✓ 働き方の変化や新技術への対応

➤ 錦糸町地域における変化の胎動

- ✓ 地下鉄有楽町線延伸を見据えたまちづくり
- ✓ 多様性を生かした賑わいと安全安心の両立
- ✓ 新たな産業振興施策の展開

➤ ハードウェア・スタートアップ拠点構想の展開

- ✓ 地域の強みを生かした支援
- ✓ 拠点機能の整備と各拠点間連携
- ✓ 効果の地域波及

- 便益、利潤追及
豊かで便利な生活、経済合理性優先
- 株主資本主義
株主利益を最優先、財務情報による短期的企業価値
- ミッション・ビジョン・バリュー
現在社会における存在価値
- PDCA
P（計画）の正当性を前提とした改善
- フォアキャストイング
現状をベースにできることを考える

- サステナビリティ
環境・気候危機、環境と開発の共存
- ステークホルダー資本主義
多様なステークホルダーとの関係性重視、非財務情報も含めた長期的企業価値
- パーパス
将来に向けた企業の意思（私たちはこうありたい）
- OODA（Observe、Orient、Decide、Act）
現場の判断を重視した迅速な判断
- バックキャストイング
目指す将来像を定め、現在すべきことを設定

コロナ禍を機に、社会変化が加速
もたらされた変化は不可逆的

VUCA（変動、不確実、複雑、曖昧）
が際立つ社会

ウィズコロナにおける経済活動 ~ 感染症予防との両立 ~

◆ 感染症予防と経済活動の両立

➤ 公的支援の縮小経済活動に対する制限緩和

補助金の打ち切り、融資返済

経済活動を止めない前提での感染症予防

➤ 経済活動に対する制限緩和

平常時の経済活動への回帰

顧客行動、事業環境の変化

感染症予防優先

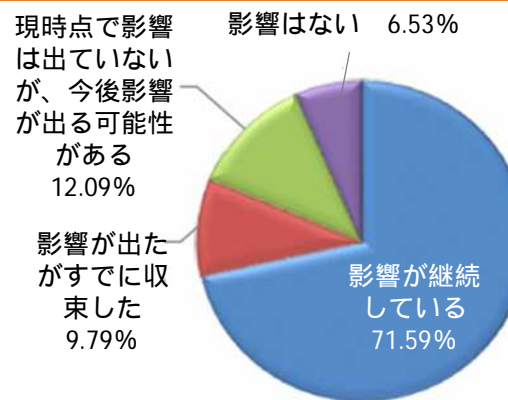
- ・ 持続化給付金
- ・ 感染拡大防止協力金
- ・ 雇用調整助成金
- ・ ゼロゼロ融資 etc

縮小

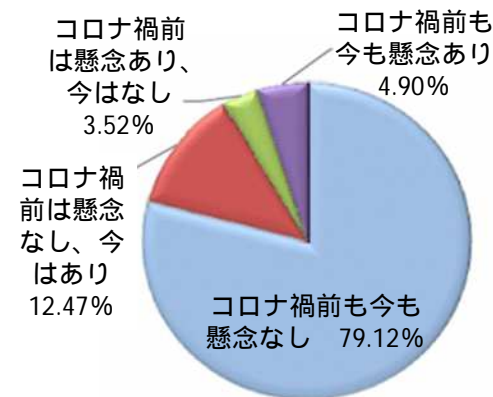
経済活動との両立

- ・ 中小企業の債務残高増大
- ・ 業種間での回復に差 (K字回復)
- ・ デジタル技術活用の加速
- ・ 感染症法上の類型見直し

コロナ禍の影響
(資本金1億円未満)



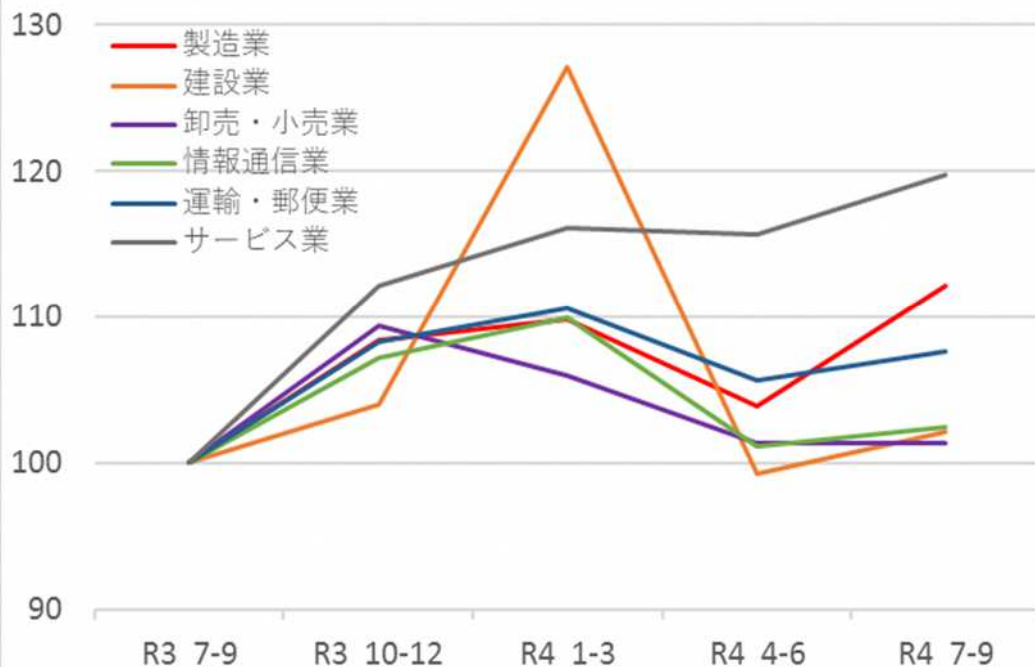
借入金の返済見通し
(資本金1億円未満)



(東京商工リサーチ 第23回新型コロナウイルスに関するアンケート調査)

業種別売上高推移 (%)

(法人企業統計R4年4-6月期)



感染症法上の位置づけ変化 (2類相当 5類)

	2類相当 (現状)	5類移行 (R5.5.8 ~)
行動制限	可能	不可能
大声を伴うイベント	定員の50%	対策実施で100%
マスク着用	屋内で推奨	個人の判断
ワクチン	無料	有料 (当面自己負担なし)
医療機関	一部 (発熱外来)	幅広い医療機関
感染者報告	全数	定点

ウィズコロナにおける経済活動 ~ サステナビリティへの対応 ~

◆サステナビリティへの対応

➤ SDGsへの取組

サプライチェーンぐるみでの対応

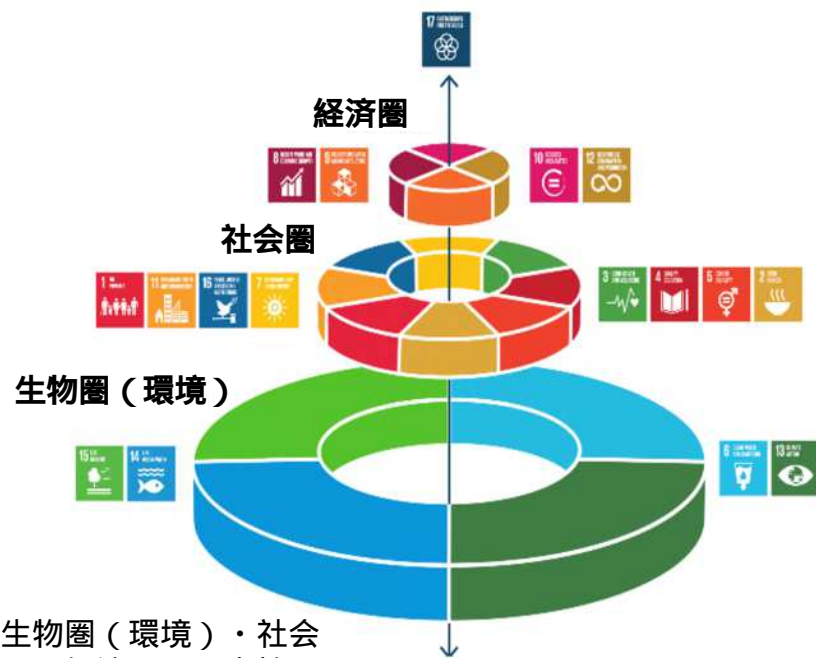
新事業開拓

➤ ESGへの対応

資金調達

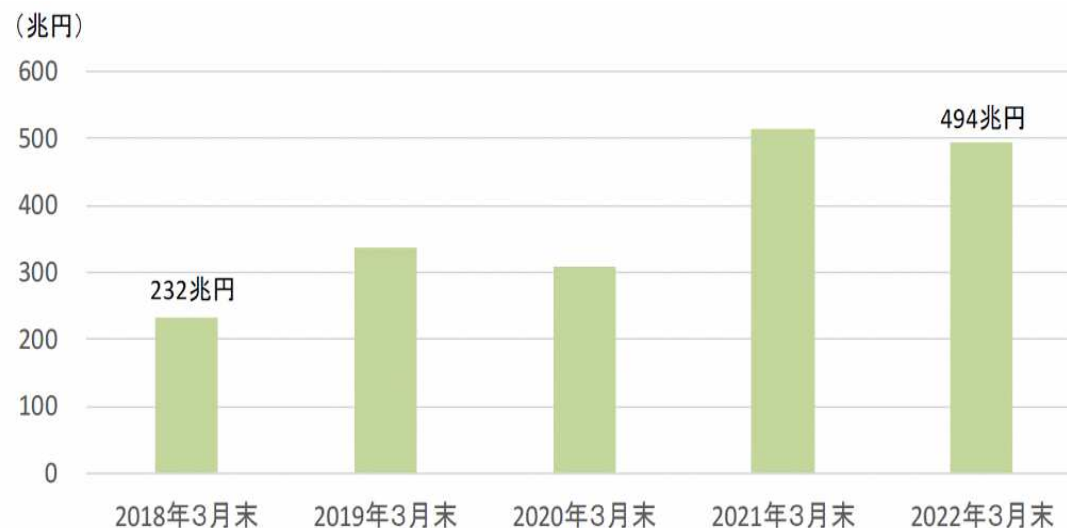
企業価値向上

SDGsウェディングケーキモデル

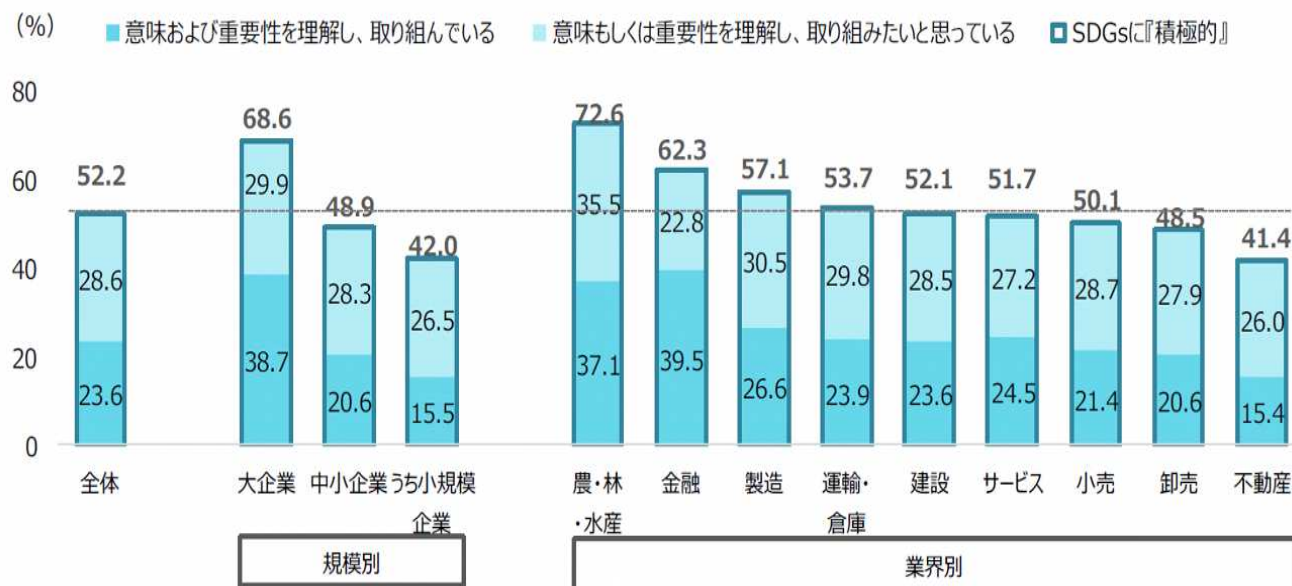


生物圏（環境）・社会圏・経済圏は、密接に絡み合っている

サステナブルファイナンス投資残高 (信金中央金庫 産業企業情報2022-20)



SDGsに積極的な企業割合 (帝国データバンク SDGsに関する企業の意識調査2022)



ウィズコロナにおける経済活動 ~ 働き方の変化や新技術への対応 ~

◆新たな技術・価値観の台頭

➤ 新技術の活用

web3.0、メタバース、GX、ロボット、モビリティ等

➤ 働き方の多様化への対応

在宅、テレワーク

人材不足、ダイバーシティ、副業人材

➤ 社会経済環境の不安定化

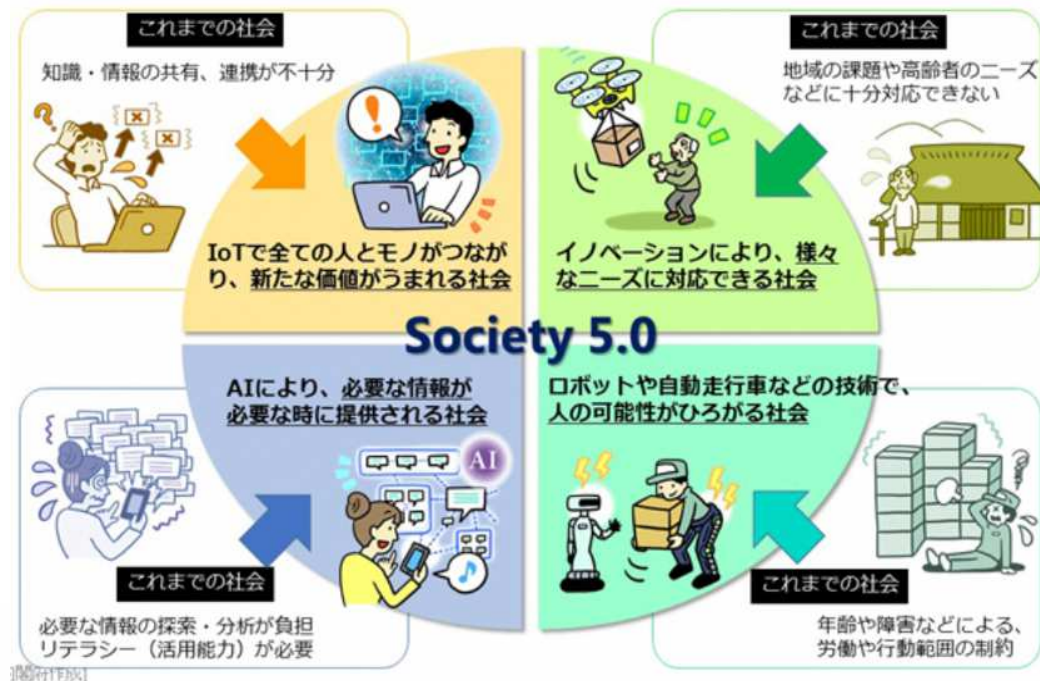
国際的なサプライチェーンの分断

輸入品を中心とした原材料価格等の高騰

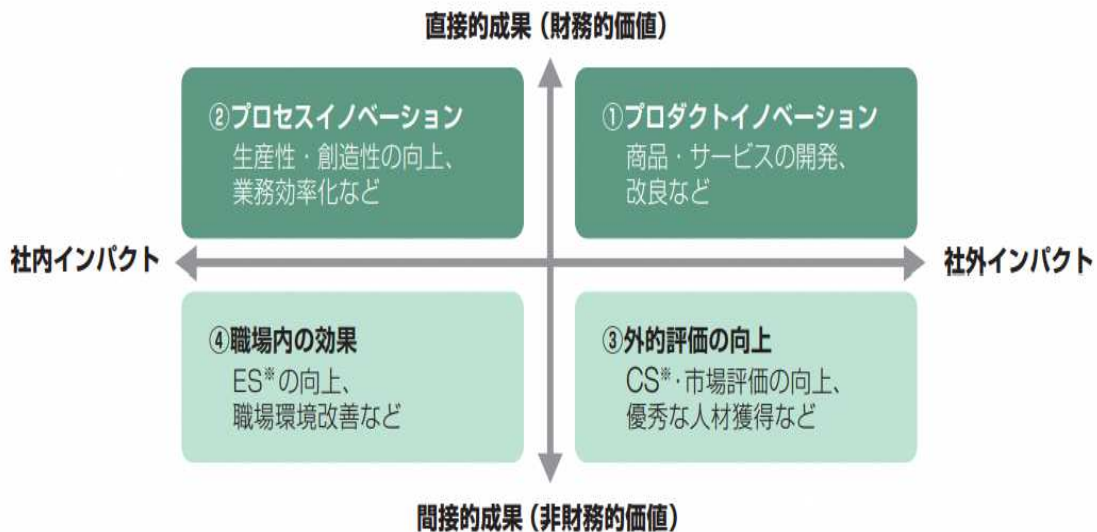
【Society5.0】

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

Society5.0で実現する社会（内閣府）

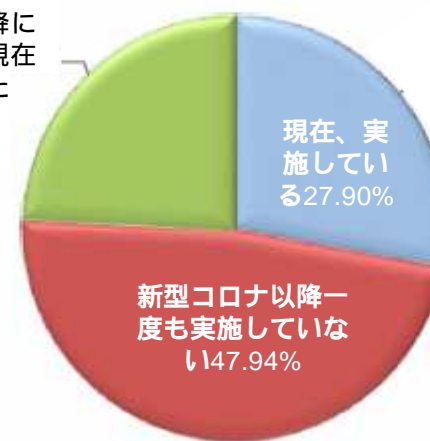


ダイバーシティ経営の成功イメージ（経済産業省）



在宅勤務・リモートワーク実施状況（資本金1億円未満）

新型コロナ以降に実施したが、現在は取りやめた
24.16%



（東京商工リサーチ 第23回新型コロナウイルスに関するアンケート調査）

錦糸町地域における変化の胎動

◆ 課題と展望

➤ 地下鉄8号線延伸を見据えたまちづくり

地下鉄8号線延伸を見据え、交通結節点機能を更に高めていくため、産業振興の視点からの課題を整理し、地域へ問題提起する必要がある。

➤ 多様性を生かした賑わいと安全安心の両立

国際空港とのアクセスの良さ、様々な食文化が楽しめる飲食店の集積等により国際色豊かな人々が集っている。

一方で、安心・安全などの地域課題に対応していくため、産業振興のみならず、都市計画や危機管理など様々な視点から、誰もが安心して楽しめるためのまちづくりを進めていく必要がある。

➤ 新たな産業振興施策の展開

SDGsの視点からも世界的に注目される事業者が拠点を構えることを契機に、錦糸町の文化や地域特性を生かすことのできる国際色豊かな事業者等への働きかけと、その取組成果の区内波及を強化していく必要がある。

地下鉄8号線の豊洲以北への延伸計画（江東区、日本経済新聞）



錦糸町地域における変化の胎動

◆地域の概況

各年度における4月1日現在の人口と比率 (墨田区住民基本台帳)

	15歳未満		15-64歳		65歳以上		合計
R3年度	2,487人	9.3%	19,822人	74.0%	4,472人	16.7%	26,781人
H28年度	2,674人	10.3%	19,184人	73.7%	4,172人	16.0%	26,030人
H23年度	2,157人	10.1%	15,686人	73.4%	3,520人	16.5%	21,363人

- ✓ 当該地域の人口は平成23年度比で125.4%と増加しており、区全体の増加率(114.7%)を大きく超えている。
- ✓ 生産年齢人口(15~64歳の人口)の割合は74.0%となっていて、区全体(67.6%)と比較して高い数値である。

錦糸町駅(JR)の1日当たり乗降客数(人/日) (国土数値情報)

平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
202,500	207,044	207,096	210,382	212,444	211,338

- ✓ JR2路線と東京メトロ1路線が乗り入れており、東西南北につながる鉄道の結節点となっている。
- ✓ 路線バスは、都営バスが北口側5系統、南口側14系統乗り入れているほか、東武バスが運行するスカイツリーシャトル3路線、京成バスが運行する区内循環バス南部ルートが乗り入れている。
- ✓ 長距離・高速バスが近隣ホテルから羽田空港・成田空港へ直通運行されている。
- ✓ 都心と都内臨海部や千葉方面をつなぐ交通の要となっており、2030年代半ばに計画されている地下鉄8号線の延伸に伴い、更に利便性の向上が見込まれる。

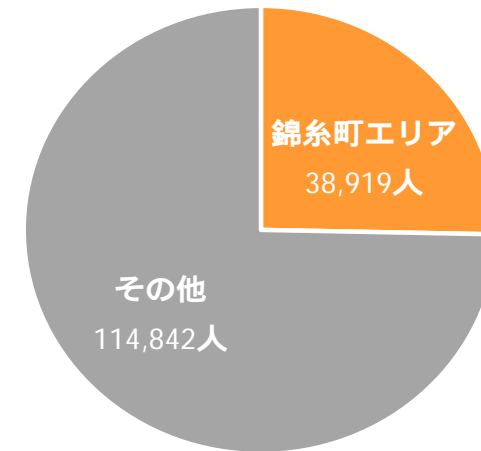
区内事業所数に対する錦糸町エリアにおける業種別集積率

(平成28年経済センサス活動調査)

食料品等製造	繊維製品等	卸売業	小売業	宿泊業	飲食店	娯楽業
12.3%	7.5%	13.6%	20.7%	48.8%	25.4%	37.1%

錦糸町エリアとそれ以外の区内エリアにおける従業者数(全業種)

(平成28年経済センサス活動調査)



- ✓ 製造業関連の事業所は少なく、区全体の5.4%が当該エリアに立地している。
- ✓ 食料品卸を中心とした卸売業(区内事業所の13.6%)、織物・衣服・身の回り品を中心とした小売業(同20.7%)、宿泊業(同48.8%)、飲食店(同25.4%)、娯楽業(同37.1%)が面積比・人口比を上回って当該エリアに集積している。
- ✓ 全業種従業者数は38,919人とエリア内人口の約1.5倍となっており、区全域の25.3%を占めている。中でも、卸売業(3,060人)、小売業(5,022人)、飲食店(4,865人)と、商業関係の従業者が多い。

錦糸町地域における変化の胎動

◆ 産業共創施設の開設

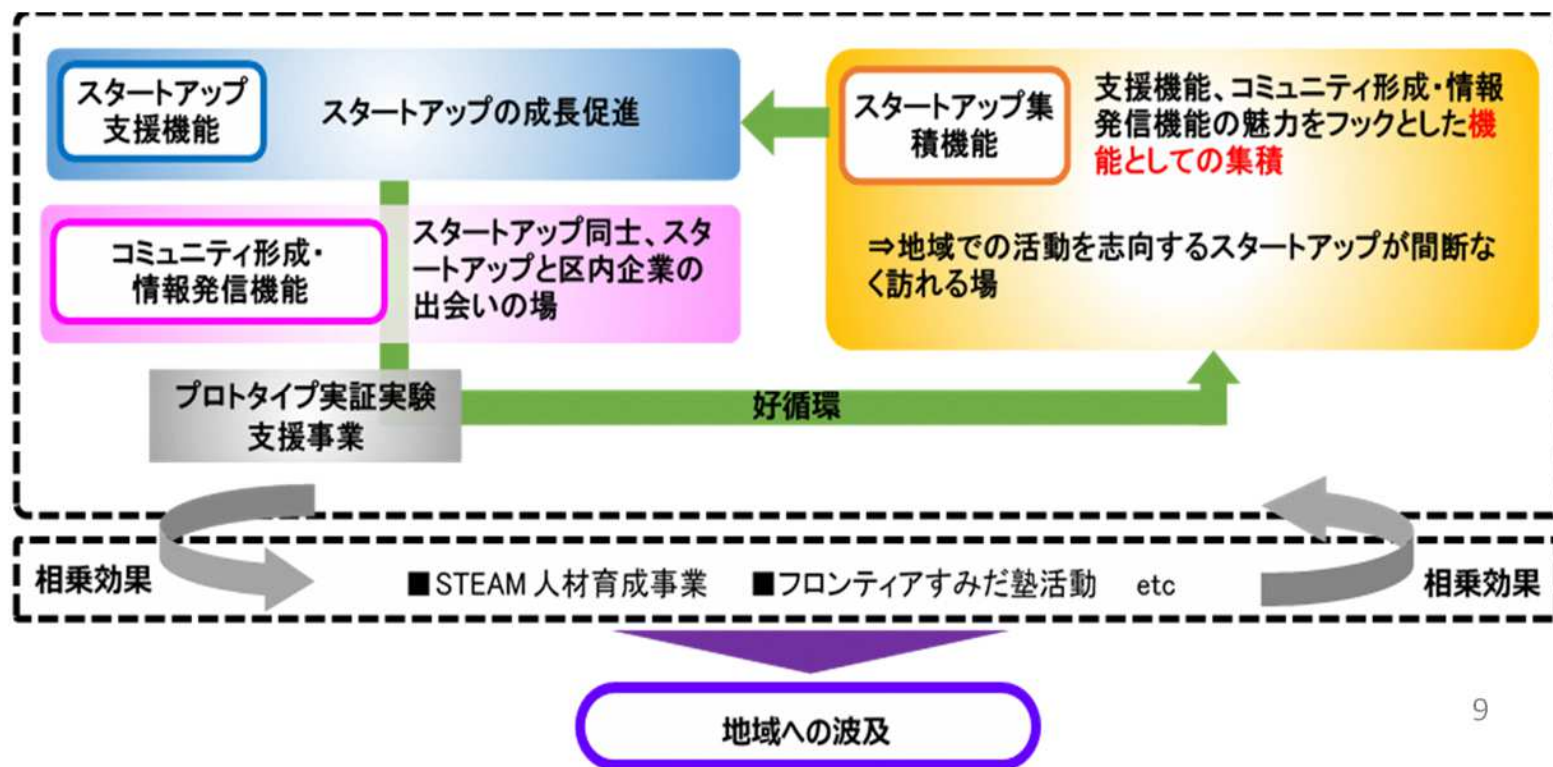
➤ 概要

本区における産業振興施策の新たな取組として、スタートアップ支援を軸とした区内産業活性化のための拠点を「ヒューリック錦糸町コラボツリー」に整備する。

➤ コンセプト

地域ネットワークを活用した「価値共創・交流・発信」拠点

- ✓ 区の強みである「互いの繋がりが強い人間関係」を基盤とする「地域ネットワークを活用」した支援
- ✓ OODAループ、PDCAサイクル等の手法を用い、各機能の相乗効果を高め、地域へと波及させる拠点



ハードウェア・スタートアップ拠点構想の展開 ~ 地域の強みを生かした支援 ~

ものづくりの歴史/課題

- 江戸時代から続くものづくりの歴史
- 区内事業者の減少
- 1万社近いものづくり事業者の集積
- 人材・後継者不足



- ✓ SDGsにより社会課題の解決が「稼ぐ」力につながる時代に
- ✓ 墨田区は産業振興を軸に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定

墨田区産業の強み

- 高い技術力・ものづくりノウハウ
- 多種多様な業種の集積及び強固な企業間ネットワーク

墨田区中小企業振興基本条例



成果を生かし、次のフェーズへ

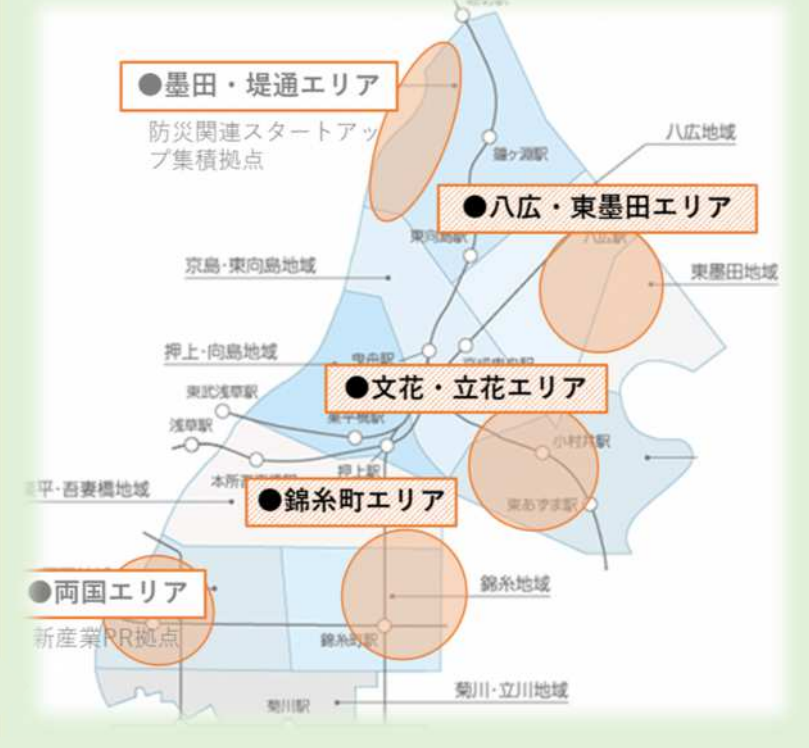
新ものづくり創出拠点整備事業

区内事業者と外部人材の連携によるイノベーションやコミュニティの創出

- 新もの整備を契機に外部人材が集積
- 民営SU支援施設も開設

ハードウェア・スタートアップ拠点構想

八広・東墨田、文花・立花、錦糸町の3つのエリアにおける産業振興を通じたまちづくりを展開



戦略1: ものづくりによる社会課題の解決

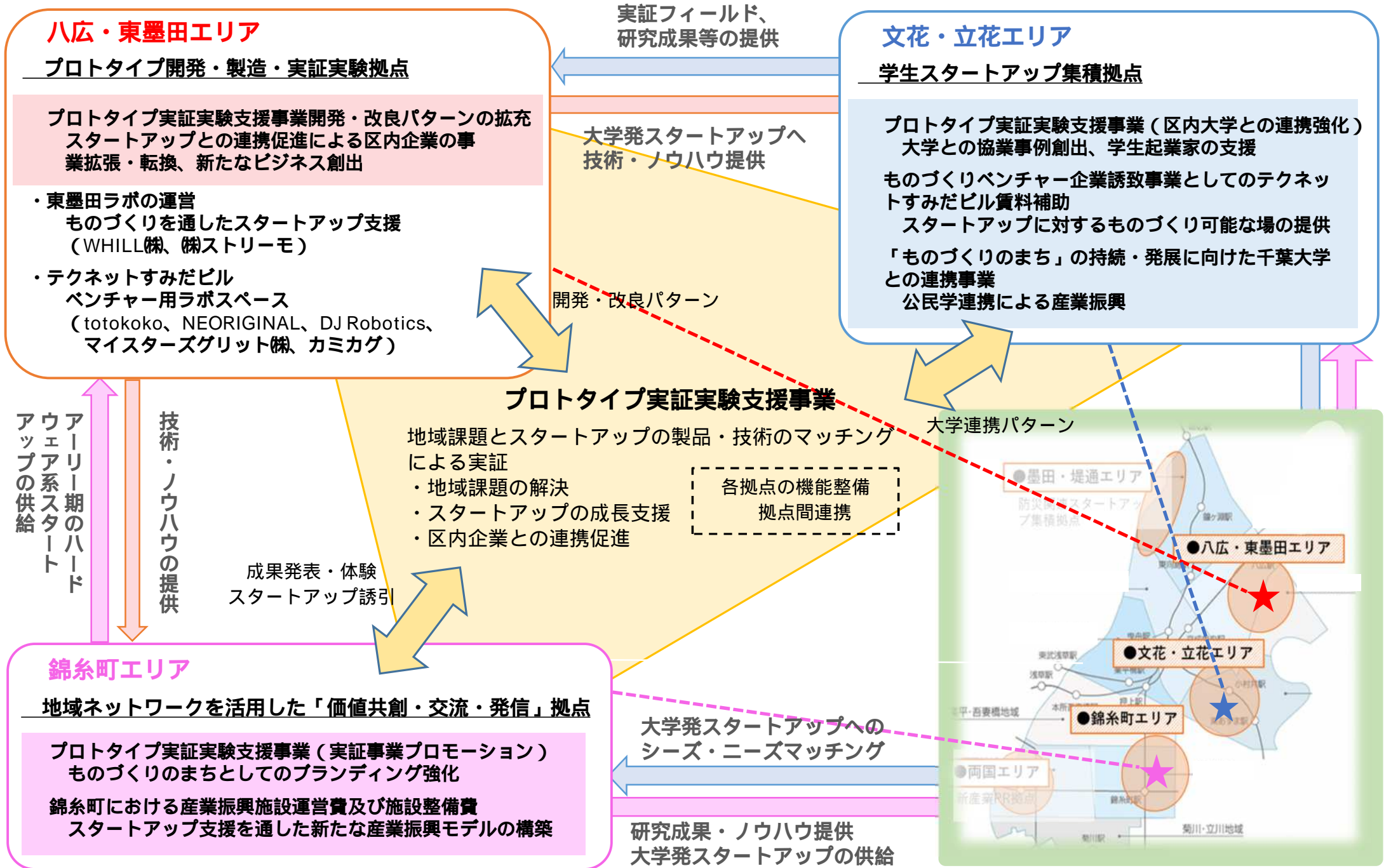
SUの成長フェーズごとの支援を各施策と連動して実施することで、墨田区の特徴であるものづくりを、時代に合った形でアップデートさせていく



ハードウェアSUの誘引と集積

更なる誘引とSUの成長促進

ハードウェア・スタートアップ拠点構想の展開 ~ 拠点の機能と各拠点間連携 ~



ハードウェア・スタートアップ拠点構想の展開 ~ 効果の地域波及 ~



戦略1.ものづくりによる社会課題の解決

- ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業
- プロトタイプ実証実験支援事業
- スタートアップ支援事業（サブス区）
- STEAM人材の育成事業

戦略2.地域内外の多彩な交流の促進

- すみだモダン事業
- DMO（観光協会）連携事業
- MICE事業
- 在住外国人と連携した情報発信事業
- フロンティアすみだ塾事業

戦略3.スモールビジネスの創出による賑わいづくり

- 地域特性を活かす商店づくり事業
- 新たな商店街組織創出事業
- 観光資源データベース事業
- チャレンジ支援資金斡旋事業

戦略4.新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業継続支援

- ものづくりプロモーション事業
- 魅力発信の基盤づくり事業
- すみだビジネスサポートセンター事業
- 産学官金連携事業

1 産業振興「新時代」の幕開け！

“産業共創”施設を錦糸町にオープン

予算額(新規)

198,000千円

問合せ

産業振興課長

瀬戸 正徳 内線5431

1 目的

スタートアップ支援を軸とした区内産業の活性化を図り、新産業を創出するための拠点となる施設を、錦糸町駅近くに竣工した「ヒューリック錦糸町コラボツリー」4階部分に整備する。

2 主な事業内容

施設の開設、管理運営【198,000千円】(新規)

【施設コンセプト】

地域ネットワークを活用した「価値共創・交流・発信」拠点「ものづくり」のまちとしての多様な産業集積と、お互いのつながりが強い地域ネットワークを生かしたイノベーションを通して、人々の生活や社会の課題解決を目指すスタートアップの支援を基盤とした施設とする。

3 開設時期

令和5年10月(予定)

4 施設概要

【所在地】墨田区錦糸4-17-1
【構造・規模】鉄骨造・地上7階
【延床面積】約7,085㎡
【4階 区借上部分】847.30㎡

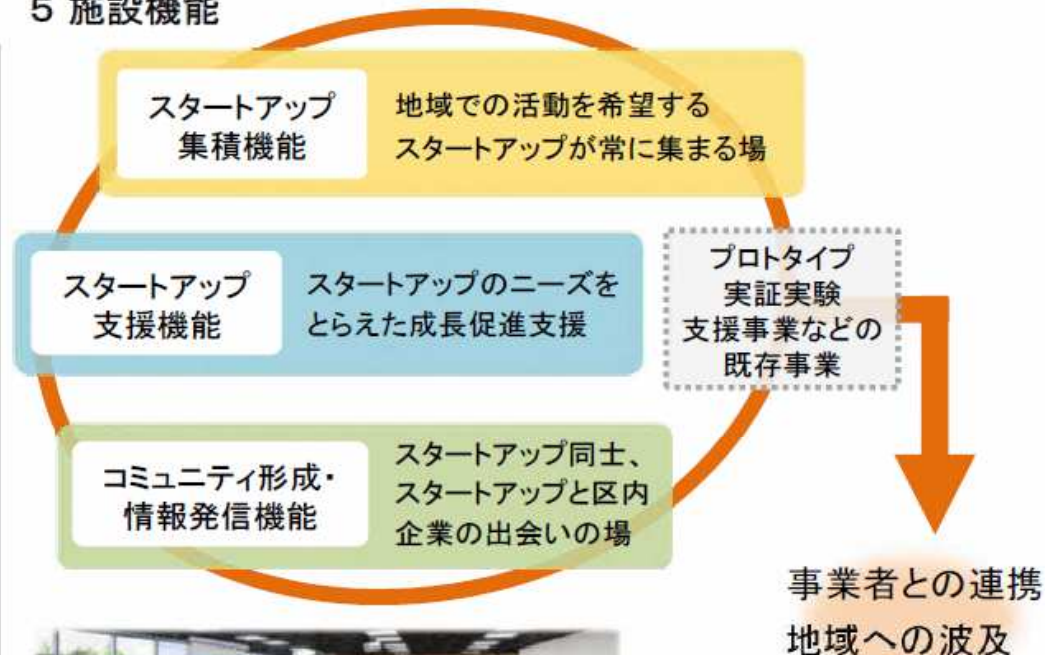


※1～3階には(株)アストロスケールが入居予定

主なSDGs目標



5 施設機能



※現時点でのイメージであり、今後変更となる場合があります。



- 令和5年度以降のテーマを決定する上で重要な視点や、今、産業振興会議の場で議論すべきテーマとは何かについて議論いただきたい。
- コロナ禍対策として展開した、緊急時対応中心の産業振興施策からの転換の是非と方向性について、区内外の環境変化を踏まえて議論いただきたい。